

キャリアパス委員会企画

キャリアパス委員会主催ランチョンセミナー2018

『日本の基礎生命科学の源流と未来』

日 時:2018年11月28日(水) 11:30~12:45

会 場:第2会場(会議センター3階 301)

司 会:山本 卓(広島大学大学院理学研究科)

●イントロダクション

木村 宏(東京工業大学科学技術創成研究院)

「日本の基礎研究の源流を訪ねて」

●話題提供

石野 良純(九州大学農学研究院)

「CRISPRの発見」

●聴衆参加型ディスカッションwith石野良純先生&キャリアパス委員

石野 良純(ゲスト/九大)、木村 宏(東工大)、井関 祥子(医科歯科大)、
來生(道下)江利子(第一三共)、斉藤 典子(がん研)、小林 武彦(委員長/東大)

今年は故・岡崎令治氏の岡崎フラグメント発見から50周年となります。この50年で分子生物学はどのように発展し、今後どのような方向に向かっていくのでしょうか。本ランチョンセミナーでは、日本の分子生物学の源流から、遺伝子操作技術を利用した分子生物学の発展、そして、ゲノム編集技術による今後の飛躍的発展、さらにはAIを駆使した新しい生物学などを展望します。“すぐに役にたつ”とはかぎらない、基礎研究の底力を体感する場となることをめざします。

※参加者の皆様にご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの事前予約ならびに当日の整理券配布については第41回年会ウェブサイトよりご確認ください。

キャリアパス委員会主催ランチョンセミナー2018

『研究にまつわるお金の話』

日 時:2018年11月29日(木) 11:30~12:45

会 場:第2会場(会議センター3階 301)

司 会:大谷 直子(大阪市立大学大学院医学研究科)

●イントロダクション

小林 武彦(日本分子生物学会キャリアパス委員会 委員長)

●聴衆参加型ディスカッションwithキャリアパス委員

加納 純子(阪大)、胡桃坂仁志(東大)、中川 真一(北大)、花嶋かりな(早大)、
小林 武彦(委員長/東大)

本ランチョンセミナーでは、「大学院生の経済サポート」や「研究費について考える」をメインテーマに、大学院生の経済事情や研究者の収入について現状を捉え、どうしたら研究に専念できる環境を整えることができるかについて考えたいと思います。年々運営費交付金が減っているラボの窮状や、PIがラボ運営・生命科学系学生の教育のためにやりくりする切実な金銭的事情などについて語り合い、現在のDC1・DC2・PD・卓越研究員の動向、今年度より導入された科研費審査システム改革2018の審査方式についてもとりあげ、研究に関わるお金がどのように調達され、使われているのか、研究費の分配システムの問題点などについても若手、シニアの皆様と一緒に議論したいと思います。

※参加者の皆様にご自身のスマートフォン・タブレット端末等から専用サイトへアクセスしていただき、ご意見を会場のスクリーンにリアルタイム表示する「ケータイアナライズシステム」を導入します。

※ランチョンセミナーの事前予約ならびに当日の整理券配布については第41回年会ウェブサイトよりご確認ください。